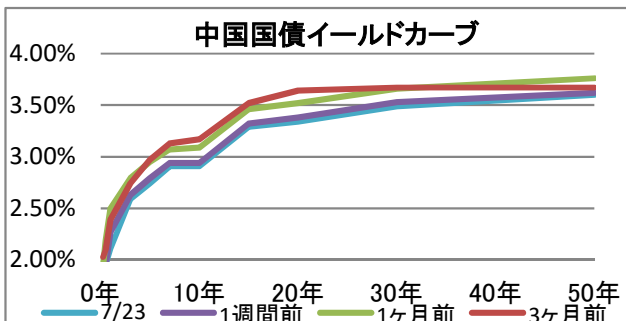
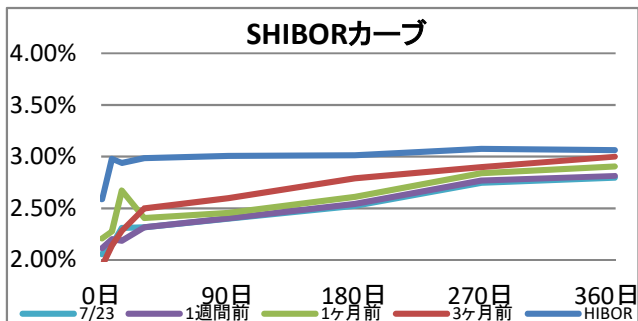


①市場概況

基準レート		2021/7/23	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.4650	-0.0055
	JPY/CNY	5.8709	-0.0210
SHIBOR	3M	2.4020%	-0.0020%
国債利回り	10年	2.92%	-0.02%
上海総合指数		3,550.40	+11.10



(1) 概況

新型コロナウイルス変異種の世界規模での感染拡大が続く中、先進国での金融緩和政策が当面は維持されるとの見通しから、米国では株式市場が高値を更新し、債券市場も堅調に推移している。

中国金融市場では、前週のMLFに続きLPRの金利が据え置かれたものの、米中対立を含む外部要因の不透明感の強さや中国経済の鈍化懸念から金融緩和期待は根強く、大手不動産への懸念拡大から株式市場は横ばい推移となり、債券利回りは低下を続け、外為市場では小幅な値動きが続いている。

中国の大手不動産会社に対する銀行の債務保全手続きを契機とする混乱は、当事者間での問題解決により収束が期待されるものの、固定資産税導入による影響も懸念され、中国の不動産市場に対する懸念は続くものと思われる。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日500億元に対し、新規リバースオペ100億元/日による合計500億元を実施する中立調節を実施。

(3) 主な経済指標

特になし。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	2.0570%	2.0300%	2.0800%	
1W	2.1430%	2.2000%	2.1000%	2.0400%
2W	2.3110%	2.3000%	2.8000%	2.2000%
1M	2.3180%	6.2000%	2.4000%	2.2000%
3M	2.4020%	2.4020%	2.4500%	2.3500%
6M	2.5230%	2.7200%		2.5300%
9M	2.7460%	2.6500%		2.6500%
12M	2.7970%	3.7000%		2.7350%

中国人民銀行による調節は中立が維持され、預金準備率引き下げ後に利下げ期待が高まっていたLRPが15ヶ月連続で維持されたことから、ターム物は1ヶ月の2.4%前後での出合いを除き限定的。

NCDは、LPRは据え置かれたものの先行き不透明感の強さから利下げ期待は根強く、長めの期間を中心に緩やかに金利水準が低下しており、ターム物の金利水準は、1ヶ月が2.20%、3ヶ月物は2.35%、6ヶ月が2.50%、1年が2.72%を中心に取引されている。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	0.02%	0.03%
1W	0.03%	0.04%
1M	0.08%	0.09%
3M	0.18%	0.20%
6M	0.28%	0.30%
12M	0.40%	0.45%

資金余剰の状況が続いており、ターム物の金利水準も引き続き低位での出しが見られ、1ヶ月では0.08%、3ヶ月は0.20%前後での出合いが続いている。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.81%	2.03%	2.38%	2.44%	2.90%
6M	1.96%	2.27%	2.51%	2.57%	3.03%
1Y	2.11%	2.27%	2.68%	2.67%	3.19%
3Y	2.59%	2.77%	2.89%	3.10%	3.80%
5Y	2.74%	2.98%	3.23%	3.35%	4.24%
10Y	2.91%	3.24%	3.62%	3.69%	4.58%

債券市場では、中国人民銀行の金融調節やLPRに変化はないものの、足下資金需給の改善や中国政府による外部要因の不確実性の高まりを受けた金融緩和姿勢維持方針に支えられる格好で、緩やかな利回りの低下が続いた。

イールドカーブは、全期間5bp前後低下する中で、中期までの利率債の利回り低下がやや大きかったことから、利率債がスティープ化し、クレジットスプレッドは短期が拡大し、長期では小幅ながら縮小している。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	39.5 / 42.0
1M	141.5 / 141.9
3M	434.0 / 436.0
6M	846.0 / 850.0
9M	1223.0 / 1230.0
12M	1598.0 / 1602.0

対ドル基準レートは、6.4650と前週末比-55pipsのドル安元高、対円基準レートは5.8709と同-210pipsの円安元高と、対ドルではLPR利下げ期待から週初はドル高での設定が続いていたものの、その後は6.46台で設定されている。国内市場でもドル高とLPR引き下げ期待から一時6.48台後半まで上昇していたものの、6.5を目前にLPR据え置き発表後に6.46台に低下した後、ECB理事会での金融緩和維持によるドル高を受けて6.47台に戻っている。

先物は、LPR据置きによる米中の金利差拡大期待を背景とする中国市場への資金流入から、スワップ幅は1年物が1620近辺まで拡大したものの、その後は1600を挟んだ値動きとなっている。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.30%		2.10%
6M	2.33%	2.51%	2.15%
9M	2.35%	2.55%	2.15%
1Y	2.37%	2.62%	2.16%
3Y	2.56%	2.93%	2.33%
5Y	2.73%	3.18%	
7Y	2.88%	3.36%	
10Y	3.03%	3.54%	

スワップ金利は、債券利回りは低下しているものの総じて小動きとなった。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドも、短期の基準金利の上昇に伴い若干拡大していたものの、足下金利が落ち着くと前週末水準に戻っている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。